

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	令和5年度第2回武蔵村山市自立支援協議会
開 催 日 時	令和5年8月16日（水）午後1時30分 ～ 午後3時
開 催 場 所	市民総合センター3階 集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：高橋 毅、佐藤 文、星 菜々絵、鈴木 正悦、柳 清美、 須永 美智子、岩瀬 香世、押田 友紀子、武内 まゆみ、 奥下 洋平、佐々木 久子、下河邊 千草、冨田 眞貴子、 小島 かおり （計14名） 欠席者：和田 恵子、馬場 均、千田 祐子、平田 将太郎、 小尾 裕美、秋元 優子 溝口 睦子（計7名） 事務局：障害福祉課長、認定審査係係長、業務係係長
議 題	1 報告事項 （1）令和5年度第1回武蔵村山市自立支援協議会の会議録について （2）各部会からの報告について （3）武蔵村山市自立支援協議会の運営要領にについて （4）その他 2 議題 （1）「武蔵村山市第六次障害者計画・第七期障害福祉計画・第三期障 害児福祉計画」について （2）合理的配慮の提供義務化について （3）その他
結 論 （決定した方針、残さ れた問題点、保留事項 等を記載する。）	議題（1）「武蔵村山市第六次障害者計画・第七期障害福祉計画・第三期障 害児福祉計画」（令和6年度～令和8年度）「第3章 基本的 な考え方」については、事務局案のとおりとする。 （2）「合理的配慮の提供義務化について」の周知方法について、各委 員が次回の自立支援協議会までに考慮する。
審 議 経 過 （主な意見等を原則と して発言順に記載し、 同一内容は一つにまと める。） ●会長 ○委員 ■事務局	1 報告事項 ●(1)令和5年度第1回武蔵村山市自立支援協議会の会議録について 事 務局から説明をお願いします。 ■（事前配布資料及び当日配布資料の確認） ■(1)「令和5年度第1回武蔵村山市自立支援協議会の会議録について」 説明 ●何か質問、意見等はあるか。 ■発言の趣旨などを確認して、訂正がある場合は事務局まで連絡をお願 いしたい。なければこの内容で確定する。 ●他にないようなので、次に移る。 (2)各部会から報告

(障害者のくらしを考える部会から報告)

○7月18日に第1回の部会を開催した。内容は、市内の防災地図について話し合った。今後は他市の防災活動などを調べて、武蔵村山市でも必要な防災について考えていく予定である。

●「くらし安全部会」を「障害者のくらしを考える部会」と「地域支援事業所部会」に分けたが、出席者が4名で、他にメンバーはいるのか。

○学校関係のメンバーがいる。

(地域支援事業所部会から報告)

○9月20日に第2回の部会を開催した。開催は2か月に1回の予定で、今年度の活動について検討したところ、まず、施設を知ることと、職員の学ぶ機会を設けたいとのことで、施設見学を9月から始める予定で、また、9月の部会では、後見人制度について検討したいと考えている。

●メンバーがグループホーム、訪問系、相談など多岐に渡っているが、就労支援部会では、B型作業所など就労に繋がる支援になり、子ども支援部会では児童を支援するようになっているが、地域支援事業所部会はどのような支援の方向性なのか。

○入所者の支援や施設の保護など多岐に渡り、支援をしている事業所が、お互いの話し合いで、知らないことや他の意見を聞き参考にするなど情報共有ができればと考えている。

●初めは手探りから初めて、今後は専門部会から自立支援協議会に提言できれば良い。

●何か質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

(就労支援部会から報告)

○5月10日と7月19日に部会を開催した。第1回目では今年度の事業計画として「武蔵村山わくわくワークマップ」を作成、事業者の見学会、コロナの感染状況にもよるがサンシャインホームの体験実習の3つの事業計画を立てた。第2回目では「武蔵村山わくわくワークマップ」が、大方出来上がっているため、それぞれの事業所のQRコードを入れて、読み込むとホームページにアクセスできるようにした。くわの実や障害福祉課に置いてもらい、相談に来た人がQRコードを読み込むとホームページにアクセスできるので、どのような事業所があるか分かるようになる。裏面は事業者の名称、住所、連絡先、一言のコメントを記入するようにしたい。次回の部会で完成させて、その後、事業所が増えた場合は内容を修正したい。また、11月に各事業所の見学会を予定していて、3日程度、見学可能日を各事業所に示してもらい、職員が見学をして、各事業所を相互理解したい。日程は次

回の部会で決定する。

○「武蔵村山わくわくワークマップ」の配布方法は。

○具体的には決まっていないが、B型作業所の人が団地に配るのを想定している。また、障害福祉課や地域包括に置いてもらうことを考えている。

○包括のボードに常に張るような考えはあるのか。

○検討する。

○障害者のための情報なので、色々な人に情報を発信することが大事である。

○配布の方法や活用の方法は部会で話し合うことになっている。

○その他のところで、「NPOそう」とあるが、どのような組織であるか。

○B型作業所の製品をJRの駅で販売するイベントを行うNPOである。

○武蔵村山市内に事業所があるのか。

○武蔵村山市内にはない。イオンモールでイベントを行いたいので、武蔵村山市内の事業所に参加の依頼があった。今までは、三鷹や吉祥寺でイベントと行っていたが、イオンモールで行うため、声を掛けられたので、就労支援部会に提案した。最近、「NPOそう」と話をしたところ、まだ、話が進んでいないので、時間がかかる。

●今後、自主製品を販売する機会があると、就労支援部会だけでは数が少ないので、自主製品を作っている多くの事業所に声掛けをしたほうが良いのでは。

○具体的になった段階で検討する。

●就労支援部会の議事録は出席者が事業所の名称のみになっているので、出席者の名前も入れたほうが良いのでは。

○了解した。

●他に質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

(子ども支援部会から報告)

■子ども支援部会の報告については、事務局から報告する。令和5年度第2回の部会を令和5年7月20日に開催した。出席者は8名で、議題について話し合いをした。部会の進行、議事録の作成は順番です

こととなった。「子育てや発達が気になるお子さんの困りごとと相談機関について」について検討した。支援機関のパンフレットの作成、ホームページの修正などを話し合い、ホームページの修正は早ければ9月中にアップしたい。

●質問、意見等はあるか。

●今年度の活動について具体的にはどのように進めて行くのか。

■ホームページの作成について説明する。発達が気になる子どもの相談関連のホームページが充実していないと指摘があったことから、マイファイル、相談機関の紹介、関係団体の掲載をホームページに掲載する準備をしている。また、市内の児童支援事業所と放課後等デイサービス事業所の案内作成を依頼していて、掲載の準備をしている。障害福祉のページから「発達が気になる」のページを検索しづらいので、子育てのページから発達のページに検索できるようにしてほしいと要望があったことから、障害と子育ての両方から発達のページに検索ができるように準備している。

○継続的支援体制については、病院、学校、放課後等デイサービスがどのようなことを行っているか、どのようなことがあったら良いかなど報告のようなものになるので、実施するというのではなく、お互いの状況を伝え合ったことである。

(地域相談支援部会から報告)

○毎月第3火曜日の午後に部会を開催している。市内の7の相談事業所と障害福祉課がメンバーで、情報共有は必ず行っている。例えば、相談事業所の中でヘルパーが不足しているとか、どこのグループホームを知っているとか、それ以外にケース検討で出た課題を今年度から話し合いをしている。今回のケースで8050問題の関係が話で出たが、個々事業所によって考えが違うので、明確な答えが出なく、今後も民生委員、地域包括やケアマネージャーに個別に関わることがあるが、そのままになってしまったことがあったので、関わりが出来るような環境作りができればとの話があった。関わりのあるB型作業所などの事業所の実情を勉強するために6月にあかつきコロニーの施設見学を行った。

●施設見学は市が関わっているのか

○関わっていない。

●質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

●何か質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

(3)武蔵村山市自立支援協議会各部会の運営要領について

●事務局から説明をお願いします。

■「武蔵村山市自立支援協議会各部会の運営要領について」説明

●質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

(4)その他

●委員から何か意見等はあるか。

○自立支援協議会の代表として、市の防災会議に出席している。
障害者のくらしを考える部会では、障害者の避難を含めて障害者の防災について話し合うことが目玉であるので防災会議の報告をする。
7月7日に開催された防災会議での議題は、令和5年度の総合防災訓練であった。実施日が10月29日の日曜日で会場が第十小学校である。防災訓練の趣旨は、武蔵村山市地域防災計画に基づき、防災関係機関、住民が連携して大規模な訓練を行い、参加者が市民の命、財産を守る行動を身に着けることを目的としているので、今回参加した。基本方針の中で、住民参加型での訓練内容は多くあり、初めに一斉に訓練開始のサイレンが鳴り、そこで安全行動をとり、その後避難所である第十小学校へ避難する訓練である。この会議に出席した時に、訓練参加依頼機関の一覧があり、ライフラインに関するのが一番多くて、水道局、NTT、警察、自主防災会、自衛隊、病院関係、防犯協会、自動車関係などが記載されていて、高齢者施設は一か所入っているが、障害者関係の団体は入っていないのが今回始めてわかり、昨年度も出席したが、障害関連の訓練参加機関がなく、障害の人たちが該当するところがないのが疑問で、部会などで問題にしている。施設に手話ができる人がいる案内やだれでもトイレの案内をしないのか聞いたところ、障害のことを考えて訓練をしていないと言われた。地域防災計画では、全市民に通達すると記載されているので、今回の訓練には自立支援協議会のメンバーが参加してもらいたいと報告した。防災訓練の参加者に障害者がいたらどうするのかを関係者が訴えて行かないと変わっていかない。障害者団体の参加をお願いしたい。

●事務局から何かあるか。

■会議終了後、委員から障害者のことを考えていないとの話があったので、防災安全課に依頼をした。また、市民総合センターで実施する訓練については、対応したものにする。

○「グループホームあしたば」は総合防災訓練に参加することとした。

●今、事務局から話があった総合防災訓練と市民総合センターで行う訓練は同じものか。

■地域防災計画に基づいて行う総合防災訓練と事業者として行う市民総合センターの訓練では違うものである。総合防災訓練について、障害者のことを考えるように伝えた。

●総合防災訓練は、全市民を対象とする訓練であるが、そこに障害者のことが考えられていないことは問題である。「あしたば」が参加することだが、他にも参加する事業所があれば、実際に行動して、その結果、対応がなければ大きな訴えになるのでお願いしたい。

●他に質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

2 議題

(1) 「武蔵村山市第六次障害者計画・第七期障害福祉計画・第三期障害児福祉計画」について

●事務局から説明をお願いします。

■「武蔵村山市第六次障害者計画・第七期障害福祉計画・第三期障害児福祉計画」について説明

○具体的な取り組みは、具体的に記載されるのか。

■武蔵村山市第六次障害者計画・第七期障害福祉計画・第三期障害児福祉計画」で掲げる施策については、他の計画とのバランスもある為、具体的に記載することは難しいかと思う。

具体的な数字をあげられるものについては、記載を行う予定であるが、「充実させる」等の表現に留めることもある。

●現行計画の振り返りについて、市としては施策への取り組みは進んでいると判断しているのか。

■コロナの影響により進まない事業もあった中で、進んでいるのではないかと思われるが、数値だけで判断できるものではないと思われる。

○基本目標ごと施策の評価が大きく違うようだが、何故か。

■相談体制の充実とサービスの提供とは、施策と事業との結びつきが異なるので、一律の評価ができない。

●基本目標や基本施策も大事であるが、具体的な取り組みをどのように計画に反映していくのが重要なポイントだと思われるので、今後の施策の展開に期待したい。

○障害者の将来や災害対策について他の委員からも意見が出ているが、まず高齢者と障害者の境目がよくわからない。

防災に関しては、当方は高齢者施設の2次避難所であるが、1次避難所で受け入れがたい方々が2次避難所に来るわけであり、障害者も小さな子どもも関係なく避難してくる可能性がある。

だが、高齢者施設であることから、高齢者のみが避難してくると思っている職員も少なくなく、2次避難所ではどのような想定のもとに、避難してきた方々を支援するためにどのような準備をしておけばよいのかもわからない状態である。

介護保険の計画とも一緒になって考えることはできないのか。
また、支援する際の具体的な仕組みづくりをしていただければ、こちら
も受け皿としてしっかりと準備をして整えたい。

■現在、障害者福祉課と高齢福祉課の双方で2次避難所の見学などを行
い、また、障害福祉課では必要な備品の調査も行っている。
今後は、運営マニュアルを作成し、避難訓練まで行うことを理想とし
て準備をしている。

●他に質問、意見等はあるか。
ないようなので、次に移る。

(2)合理的配慮の提供義務化について

●事務局から説明をお願いします。

■「合理的配慮の提供義務化について」説明

●あかつきコロニーは障害者の施設であるが、現在は制度上努力義務で
ある。令和6年4月からは義務化される。守らなければ、罰則が科せ
られる可能性も考えられる。内容は資料を読んでもらい、どのように
周知していくか考えてもらいたい。例えば商工会に協力をお願いして
いるのか。

■令和4年2月頃、令和5年2月頃にパンフレットの配布を依頼した
が、冊数に限りがあるので、全事業所に行きわたらない。周知がされ
ていないのが現実なので、行政のアイデアだけでなく、皆さんからの
アイデアを活用したいので、よろしくお願ひしたい。

●ハローワークでは雇用者に対して講演会や研修を行っていると聞いて
いるが、啓発に向けてパンフレットやポスターの予算を計上したり、
市報の一面に載せるなど、色々な方法が考えられる。次回の会議まで
に周知の仕方の案を考えてほしい。

●他に何か質問、意見等はあるか。

○合理的配慮は、防災関係では絶対的に必要であり、防災の関係で合理
的配慮に取り組めば一番早いのでは。

■今までも取組を行ってきたと思うが。

○自立支援協議会のメンバーで部会のメンバーに入っていない人がいる
が、報告の時のみ発言しないのか。

■部会に入らず自立支援協議会のみ参加ということか。

○部会のメンバーの人数が少ないと議論ができない。例えば民生委員な
どは、部会に参加しないのか。

■民生委員として委嘱しているの、個別の部会には属さない。何かあ

	<p>れば、自立支援協議会場で発言してもらうか、事務局に連絡してもらうようになる。</p> <p>○「地域支援事業所部会」では、グループホームの連絡会を復活することとした。自立支援協議会と関係ない事であるが、グループホームの数が増えて、先日、7月の集まりでは、新規の3事業所が参加して、他の2事業所は次回から参加する予定である。参加することで、自立支援協議会の情報を提供することができるので、今後も続けていきたい。</p> <p>■今後、周知について話し合いをして調整していくことでよろしいか。</p> <p>●自立支援協議会のメンバーだけであると、ネットワークの範囲が決まってしまうので、個々が持っているネットワークを活用して周知をしていくのは一つの案である。</p> <p>●他に質問、意見等はあるか。 ないようなので、次に移る。</p> <p>(3)その他</p> <p>●事務局から何かあるか。</p> <p>■特になし</p> <p>●委員から何かあるか</p> <p>○特になし</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	--

会議の公開・非公開の別	<p>■公開 傍聴者： <u>1</u> 人</p> <p>□一部公開</p> <p>□非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="font-size: 2em;">()</p>
-------------	---

会議録の開示・非開示の別	<p>■開示</p> <p>□一部開示（根拠法令等：)</p> <p>□非開示（根拠法令等：)</p>
--------------	---

庶務担当課	健康福祉部	障害福祉課	(内線：642)
-------	-------	-------	----------

(日本産業規格A列4番)